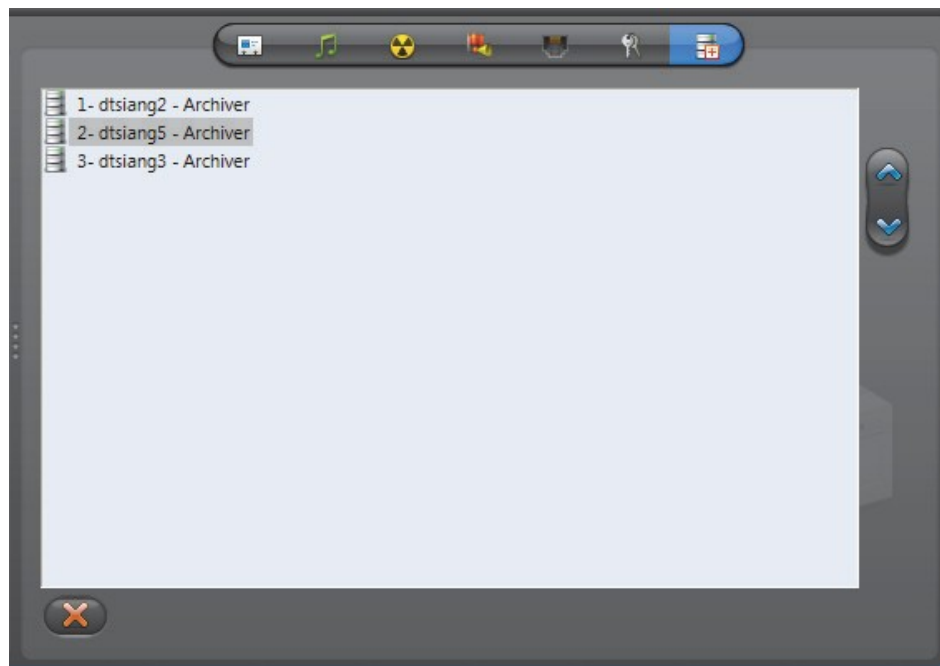




スタンバイアーカイバ

説明 ザ・スタンバイアーカイバタブでは、アーカイバを定義することができます。フェールオーバーリスト このユニットのために。



アーカイバフェールオーバーリスト このリストに表示されてアーカイバは、このユニットを制御するように構成されているものです。リストの一番上に表示されます **Archiver** は、主アーカイバと呼ばれています。これは、通常の場合でユニットを制御しなければならないものです。プライマリアーカイバが失敗した場合、ユニットの制御は、ライン内の次のアーカイバに転送されます。システムのコンセプトを参照してください - [アーカイバの可用性 17 ページ](#)。

冗長アーカイブ スタンバイアーカイバがプライマリアーカイバとして動作していないときは、冗長なアーカイブを生成するために使用することができます。 **冗長アーカイブ** カメラごとカメラにオンまたはオフにすることが可能な機能です。カメラを参照してください - [録音の設定 248 ページ](#)。



あなたはとスタンバイアーカイバの順序を変更することができます  そして  ボタン。

注意 ユニットは、アーカイバ自動検出を介して、または、それが手動で追加されるかに関連します。手動の関連付けは、ディスクバリーツールを介して、またはユニットの追加]ダイアログを介して行うことができます。見る [手動ユニットを追加に](#) ページ 405。

どのようにフェールオーバーワークス 各ユニットには、特定のポート上で、その主アーカイバからのコマンドにリッスン (参照します [ネットワーク設定 412 ページ](#)) 。

一方、アーカイバは、サーバ管理を参照して (ユニットの複数のグループと通信するように構成することができます - [アーカイバ拡張機能 97 ページ](#)) 。

Archiver は積極的にいつでもユニットを制御することができます。

物理的な観点から、単位  常にアーカイバの下に表示されます  その現在 それを制御しています。

次の例では、均等に 2 つのアーカイバ間に分布 12 個の単位を有します。そのうちのひとつが故障した場合、本来は失敗した 1 によって制御された全てのユニットはまだ働いているものに自動的に転送されます。



注意 アーカイバは、ユニットのフェールオーバーリストの一部になると、それは（赤で表示）非アクティブになるまで、それはもはや、そのリストから削除することはできません。